

報道機関各位

株式会社 TWOLAPS

申込者情報が閲覧できる状態になっていたことに関する報告書

株式会社 TWOLAPS が実施いたしました「北九州マラソン公式ランニングクラブ」の申込受付において、Google フォームの設定不備に起因して申込者情報が閲覧できる状態になっていた事案が発生いたしました。関係の皆様にご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

本件の概要、発生原因、対応状況および今後の再発防止策につきまして、下記のとおり報告いたします。

1. 概要

当社が管理する申し込み用オンラインフォーム（Google フォーム）において、回答送信完了画面にて他の申込者の回答内容が閲覧可能な状態となっておりました。

●対象コースおよび発覚時点の申込人数

- サブ 3-3.5 コース（2 名）
- サブ 4-4.5 コース（6 名）
- 「完走するぞ！」コース（2 名）

●発生期間

令和8年9月6日 20:00 ～ 令和8年9月15日 08:00（設定修正完了日時）

●閲覧可能となっていた個人情報の項目

氏名、住所、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、年齢、
携帯番号、緊急連絡先（氏名・電話番号・続柄）

（※Google フォームの集計表示の仕様上、項目ごとの箇条書き一覧として表示）

●対象件数・人数： 申込者計 10 名

●実際の閲覧可能範囲に関する注意点：

○アクセス手順

送信完了画面に直接個人情報が表示される仕様ではなく、送信完了後に画面上に表示される「過去の回答を表示」というリンクを申込者が能動的にクリックした場合にのみ画面が遷移して閲覧可能となる状態でした。

○コース間の独立性

各コースのフォームが独立運用されていたため、閲覧可能範囲は同一コース内の過去回答者に限定されます（他コースの回答者は閲覧不能）。

2. 発生の経緯

発覚から対応完了までの経緯は以下のとおりです。

日時	内容
令和8年8月31日	当社より北九州マラソン実行委員会事務局宛に、各コースの回答用フォームリンクをメール送付。 「テスト入力および内容確認」を依頼。
令和8年9月6日 20:00	各コース（サブ3-3.5、サブ4-4.5、「完走するぞ！」）の申し込みフォームを開設し、募集を開始。
令和8年9月14日 23:46	申込者から他の申込者の情報が閲覧可能な状態である旨、メールにて北九州マラソン実行委員会事務局に指摘が有り
令和8年9月15日 07:51	メール内容を確認した北九州マラソン実行委員会事務局職員より当社担当が電話連絡を受信。
令和8年9月15日 08:00頃	担当が速やかに設定を確認し、全コースのフォームにて「結果の要約を表示する」設定をオフに変更（閲覧不能化の応急措置を完了）。
令和8年9月15日 午前	各コースの申込状況および設定状態の調査を実施。 （全コース計10名：サブ3-3.5コース2名、サブ4-4.5コース6名、「完走するぞ！」2名であることを確認）
令和8年9月15日 午前	北九州マラソン実行委員会事務局へ初期対応の完了を報告。今後の対応方針について協議を開始。

3. 発生原因および他コース・データへの影響調査

（1）直接原因

Google フォームの初期設定作業において、プレゼンテーション設定内にある「結果の概要を表示する」を「オン」にしていた。本設定を行った背景として、担当者が「申込者本人が送信後に自分の回答内容を振り返って確認・保存するための機能」であると誤って解釈・認識していたことにあります。「概要を表示する」機能を選択することで「過去の全回答者の集計データ一覧」が閲覧可能になるというシステム仕様に対する認識が不足していたため、利便性の向上を図る意図で誤って本設定を有効化していました。

（2）管理・運用上の原因

公開前の8月31日に、北九州マラソン実行委員会事務局宛に回答用テストURLをメール共有し、事前にテスト入力および表示確認のプロセスを実施していた。しかしながら、確認時の注力ポイントが「設問内容・文言・項目の正当性」に偏っており、「送信完了画面における概要表示リンクの有無」というセキュリティ設定上のチェック項目が具体的に共有・確認項目として定義されていなかったため、本設定不備が見落とされたまま本番公開に至ってしまいました。

（3）フォーム分離による影響範囲の局所化およびデータの安全性

●閲覧可能範囲の局所化

フォームはコース別に分かれているため、閲覧された可能性のある範囲は各フォームの内部（同コース内）のみに留まります。他コースの申込者データ（例：サブ3-3.5コースの利用者がサブ4-4.5コースの申込者データを見るなど）は構造上、一切閲覧できません。

●Google フォームの仕様上、画面上の表示形式自体は「氏名一覧」「メールアドレス一覧」等の単一のリスト形式（項目別の一覧）でしたが、表示順序等の照合によって個人が特定されるリスクが存在していたことを認識しています。

●スプレッドシートの安全性について

各フォームの回答が集約されている管理用スプレッドシートのアクセス権限は関係者のみに制限（非公開）されており、外部からスプレッドシート経由でのデータ流出・閲覧のリスクがないことを確認済みです。

4. 対応状況及び二次被害

■対象者への対応

閲覧可能となっていたすべての申込者（計 10 名）に対し、個別に本件の経緯説明と謝罪を行っています。

■二次被害の有無

現時点において、本件に起因する個人情報の悪用や二次被害の報告は確認されておりません。

5. 再発防止策

弊社では、本件を重く受け止め、今後のオンラインフォーム運用にあたり以下の再発防止策を徹底いたします。

（１）「フォーム公開前セキュリティチェックシート」の策定と義務付け

フォーム作成時、以下の必須チェック項目を設定したチェックシートを導入し、厳格に管理します。

- 「結果の概要を表示する」がオフになっているか
- 「回答の送信後に編集を許可する」がオフになっているか
- 連携スプレッドシートのアクセス権限が関係者に限定されているか

（２）一般ユーザー目線での事前動作テスト・ダブルチェックの徹底

フォーム公開前には、作成者以外の担当者が「シークレットウィンドウ（ログアウト状態）」を用いてテスト送信を実施し、回答完了画面および挙動の安全性を確認した上で公開手続きを行います。

（３）個人情報管理体制の強化と教育の徹底

クラウドツール利用における個人情報取り扱いガイドラインを整備し、スタッフ全般に対するセキュリティ研修及び啓発活動を定期的の実施いたします。

本件に関する問い合わせ先
株式会社 TWOLAPS
担当：安田/青野
連絡先：080-8055-9739
メール：info@twolaps.co.jp